

## 四国大学大学院文学研究科学位論文及び特定の課題についての審査基準

### 【修士論文】

- 1 研究テーマの適切性：  
研究目的が明確で、当該分野の課題を踏まえた適切な研究テーマが設定されていること。
- 2 研究方法の妥当性：  
研究目的を達成するための研究方法が妥当であり、主体的に行われていること。
- 3 研究内容の独創性：  
研究内容は客観性をもち、これまでの研究の模倣でなく独創的であること。
- 4 論旨の妥当性：  
一貫した論旨展開により、明確かつ実証性を有した結論が提示されていること。
- 5 倫理的配慮：  
研究に関わる倫理上の問題について考慮し、また必要な対応ができていること。

### 【特定の課題についての研究の成果】

- 1 特定の課題：  
<日本文学・書道文化専攻>
  - 日本文学・日本文化史分野  
文芸作品（小説、俳句、詩歌など）の創作、翻字・翻刻（本文の現代語訳、語釈を含む可）。  
文字数 30,000 字以上。解説文 4,000 以上を添付のこと。
  - 書道文化分野  
書道作品制作 5 点以上  
それぞれの作品の意図や典拠とした古典などについて、合計 6,000 字以上の注釈を付ける。<国際文化専攻>
  - 英語教育、国際理解教育などに関する教材、英語のエッセー、短編などの翻訳。  
教材の背景となる理論や取り上げた作品を翻訳する意義や作品分析など、10,000 字以上の注釈を付ける。
- 2 対象学生：  
希望した学生  
ただし、特定課題研究を担当可とする教員の研究指導を受けることが前提。
- 3 成果と審査方法：
  - ・特定の課題に関する要旨の作成  
原稿体裁 A 4 用紙 横書き 2 枚程度 一部ずつ左上綴じ  
文字数 1,500 字～2,000 字 10.5 フォント  
章ごとに纏めてもよい。詳細については、各自判断のこと。
  - 最終試験 口頭試問（研究発表会）  
特定課題研究を担当可とする研究指導教員が主査となり、他 2 名の副査とともに審査を実施。

※修士課程では、「修士論文」又は「特定の課題についての研究成果」が審査対象となる。